

情勢報告

環境制御技術について講義～農村女性リーダーつどい～



伊藤技師による講義

1月27日に安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会主催の「第9回安芸・室戸地区農村女性リーダーつどい」が芸西村の村民会館で開催され、地区内外の農村女性、農業や男女共同参画機関の関係者など110人が参加しました。

農業改良普及課は、開催準備や円滑な運営を支援し、ミニ講演では伊藤技師が「ハウス内の環境改善による収量・品質アップ！」の演題で環境制御技術について講義しました。

参加者からは、「丁寧な説明で、環境制御のことがよくわかった」との声が聞かれ、環境制御技術に向けた関心が高まりました。

今後も農業改良普及課は、農村女性リーダーの自主的な活動を支援するとともに環境制御技術の推進を行います。

まずはハウス環境の把握から！環境制御機器導入事業の説明会を開催



熱心に講習を聴く生産者

平成28年2月1日、安芸郡芸西村の促成ナス生産者4人から環境制御機器導入事業について詳しく知りたいと要望があり、農業改良普及課は生産者のほ場で事業の概要（事業の対象となる機器、活用方法等）、平成27年度までの事業導入者数について説明しました。

生産者からは「ぜひ自分のハウス環境を把握し、炭酸ガスを施用してナスの収量を上げたい」といった声があり、導入への意欲を高めることが出来ました。

農業改良普及課では、3月にも安芸市の赤野集出荷場ナス研究会で環境制御機器導入事業の説明会を開催し、環境制御機器の導入支援を行うことにしています。

穴内園芸研究会が環境制御技術をメインに視察研修会を開催



説明を聞く生産者

J A土佐あき穴内園芸研究会は、1月20日に県農業担い手育成センターへの視察研修会を開催し、生産者11人、J A職員3人が参加しました。

ピーマン・ナスの環境制御技術を導入した試験ハウスを見学した生産者からは、炭酸ガス施用と灌水・施肥、仕立て方法についての質問が次々に出され、活発な情報収集が行われました。その後、穴内集出荷場で視察報告を行い、研修会を企画した農業改良普及課は、参加できなかった生産者にも情報提供をしました。

農業改良普及課は今後も、実証機関や研究機関への視察研修をコーディネートし、現場の声を各機関へ、最新の研究情報を農家へつなぐ活動を行います。

情勢報告

収量アップに向けて唐浜集出荷場研究会ピーマン部会が勉強会を開催



熱心に説明を聴く生産者

1月22日、農業改良普及課は唐浜集出荷場研究会ピーマン部会を対象に安田町で赤ピーマンの光照射による追熟技術の勉強会を開催し、生産者5人が参加しました。

光照射方法や着色の変化などの説明を聴いた生産者からは「試験してみたい」「もっと詳しい話が聞きたい」といった声が聞かれ、光照射追熟技術への関心が高まりました。

農業改良普及課は今後も光照射追熟技術について情報提供を行いながら、現地試験等に取り組んでいきたいと思ひます。

新技術について学ぼう！ 中芸集出荷場女性部が現地検討会を開催



炭酸ガス施用について説明する普及指導員

1月22日、奈半利町で中芸集出荷場女性部現地検討会が開催され、6人が参加してお互いの栽培管理の違いや今年取組について情報交換を行いました。

農業改良普及課は環境制御技術の理解を深めてもらうため、植物の光合成や呼吸のしくみを説明し、炭酸ガスの必要性や効果的な施用方法について講習しました。

農業改良普及課は、今後も女性部に積極的に環境制御技術の推進を行い、収量増加や品質向上につながる情報提供を行っていきます。

隣の芝生は青い？安芸集出荷場女性ナス勉強会で近隣部会のほ場を視察！



視察先の園主による3品種毎の生育状況の話に聞き入る参加者

1月28日、安芸集出荷場女性ナス勉強会が近隣の安芸市赤野集出荷場管内のナスほ場3カ所で現地視察研修を行い、生産者6人が参加しました。

1カ所目では雇用による効率化や整枝・摘葉のポイント、2カ所目では炭酸ガスを局所施用する上での工夫や環境測定のメリット、3カ所目では同一ほ場内で栽培している「土佐鷹」「竜馬」「慎太郎」の品質や収量性の相違等について、園主の熱い話を聞きました。

参加者からは「(局所施用の工夫を)これは写メを撮ってダンナにも見せる！」「仕立てや摘葉の違いも色々やねえ」等の意見が出ました。

農業改良普及課は、今後、女性勉強会や青年部勉強会への支援を強化していきます。

情勢報告

東洋町農業研究会が視察研修



ダクトは邪魔にならない？

2月18日に東洋町農業研究会の芸東集出荷場及び環境制御技術導入農家への視察研修を開催し、ナス生産者6人が参加しました。

芸東集出荷場では河内集出荷場との統合について意見が交わされました。生産者のほ場では農業改良普及課が環境制御技術の説明を行いました。参加者は炭酸ガス施用で樹勢の良いナス（慎太郎）を見て、果形の良さに感嘆の声を上げていました。また、炭酸ガス局所施用ダクトについて質問する等、環境制御技術の導入について意識が高まりました。

今後も農業改良普及課は、東洋町農業研究会の自主的な活動を支援するとともに環境制御機器の導入を推進します。

わからんことはどんどん聞こうや！～安芸ブロック青年農業士交流会



炭酸ガスは施用量にこだわらんと！

2月17日、安芸ブロック青年農業士連絡協議会の恒例行事であるブロック交流会を芸西村で開催しました。交流会は、炭酸ガス施用のナス、ピーマンとトルコギキョウの3ほ場を巡回する現地研修会形式で行われ、昨年の13人を上回る23人の参加がありました。

環境制御技術は多くの農業士が導入しており、高収量をあげるナス園主に、たくさん用意してきた質問を矢継ぎ早にぶついたり、有意義な技術研修となりました。部会の勉強会では、他品目のほ場に入る機会は少ないため、自分が栽培していない品目も興味深く視察していました。

農業改良普及課では、交流会の企画調整等を行いながら、青年農業士の仲間づくりや技術交流等の活動が、地域のリーダーになりうる人材の育成につながるようフォローしていきます。

せん定技術の理解を深めよう！ J A土佐あき柚子部がユズ講座（せん定）を開催



せん定方法について説明する普及指導員

2月14日、北川村でJ A土佐あき柚子部のユズ講座が開催され、生産者24人が参加して、せん定技術についての講習会と情報交換を行いました。

農業改良普及課はせん定技術の理解を深めてもらうため、ユズの生理・生態にもとづいたせん定方法等について実演を交えて説明しました。また、実際に参加者にもせん定してもらい、互いのせん定方法について評価しあうなど、活発な講習会となりました。

農業改良普及課は、今後もせん定技術を含め、生産者の栽培技術の向上のための支援を行います。

情勢報告

稲WC S の取組を来年度も継続するぞ！～中芸地区稲WC S 検討会～



栽培の注意点を説明中

2月10日に、JA土佐あき奈半利支所で中芸地区稲WC S 検討会を開催しました。

検討会には中芸地区で栽培・利用に取り組む稲作農家と畜産農家、関係機関の17人が参加し、27年産の実績検討と28年産の取組について話し合いを行いました。農業改良普及課は、交付金等稲WC S に取り組む際の支援策や、栽培に関する注意点等の説明を行いました。畜産農家からは「どれだけ栽培してもらえるのか」、稲作農家からは「どれだけ栽培していいのか」「面積を増やしたい時、誰に買ってもらうのか」といった意見が出され、双方のマッチングの重要性が再認識される検討会となりました。終了後には、早速、畜産農家と稲作農家の間で、各自が取り組む面積や田植え時期等の計画の打合せが行われる光景もみられました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し、取組が円滑に実施されるよう支援を行います。

中芸地区でお国自慢の会を開催



お国自慢の会の様子

2月10日に、田野町千福集会所で中芸地区農漁村女性グループ研究会の主催で中芸地区の農産物の消費拡大と生産技術の向上を目的に「中芸地区お国自慢の会」が開催されました。会には、グループ員、関係機関あわせて39人が参加し、各グループから自慢料理について説明の後、試食を行いました。その後、女性の農産物栽培技術の向上を目的として、農業改良普及課から「環境制御の基礎技術」について説明を行いました。参加者は、「なぜ、風が必要か」「白マルチの効果はどのくらいあるのか」等栽培について熱心に質問していました。

今後、農業改良普及課では、野菜の消費拡大や女性を対象にした栽培講習会を実施し、消費者への農産物のPR知識を深める取組を進めていきます。

就農支援の組織づくりに向けて～中芸地区就農支援ネットワーク準備会～



中芸地区の就農支援を意見交換

2月9日に田野町で、中芸地区の就農促進を目的に、中芸5町村、JA土佐あき中芸営農センター、農業改良普及課の11人が参加し、中芸地区就農支援ネットワーク準備会を開催しました。

農業改良普及課は、地区内外の就農支援の取組や就農事例を紹介し、定期的に情報交換しJAや各町村が連携して対応していくことの必要性を確認しました。協議の結果、次年度から年2回を基本に会を開催することが決まりました。

農業改良普及課は計画的な開催と情報提供を行い、中芸地区の就農を支援していきます。

